

治安に関する県民意識調査

< 概要版 >

秋田県警察では、このたび、県民の皆様から県内の治安状況や警察活動についてのご意見、ご要望などをお聞きし、その結果を今後の警察活動に反映させていくために、意識調査を実施いたしました。

その結果の概要についてご報告します。

【調査のあらまし】

調査対象 : 秋田県内に居住する満 20 歳以上の男女

対象者数 : 2,000 人

調査期間 : 平成 26 年 7 月 18 日 (金) ~ 同年 8 月 29 日 (金)

有効回答 : 1,087 件 (有効回収率 54.35%)



秋田県警察マスコット まもるくん

平成 26 年 10 月

秋田県警察本部

調査結果の概要

＜ 秋田県の治安、秋田県警察の印象 ＞

・「治安が良い」と考える県民が圧倒的多数

「現在の秋田県は、治安が良く、安全で安心して暮らせる県だと思いますか」という点に対して、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計が79.4%、一方で「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計は6.5%にとどまり、治安が良いと思っている県民が圧倒的に多い。

・秋田県警察に「良い印象」を持つ県民が多い

「秋田県警察にどのような印象を持っていますか」という点に対して、「非常に良い印象を持っている」、「良い印象を持っている」、「どちらかといえば、良い印象を持っている」の合計が65.6%、一方、「非常に悪い印象を持っている」、「悪い印象を持っている」、「どちらかといえば、悪い印象を持っている」の合計は15.6%であり、秋田県警察に対して良い印象を持っている県民の方が多い。

秋田県警察に対してそのような印象を持つことになった理由は、「警察官の態度や行動によって」が42.6%と最も高い。続いて、「何となく漠然としたイメージから」が22.1%、「新聞やテレビなどの報道から」が14.3%である。

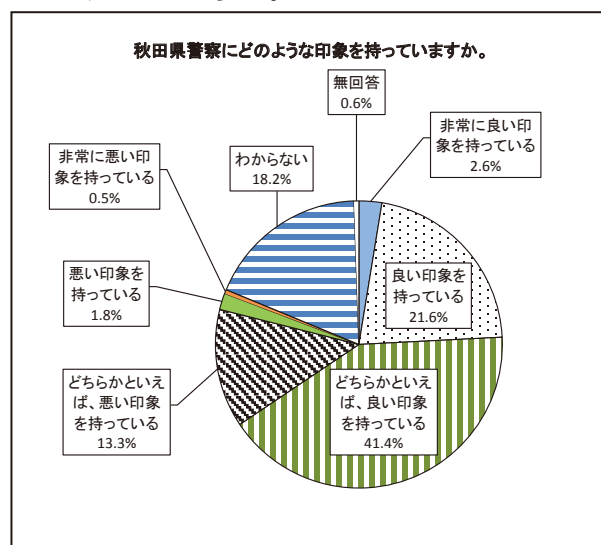
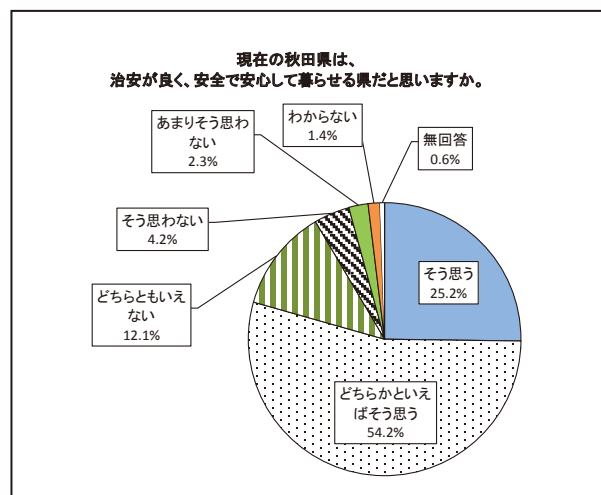
また、「良い印象を持った場面」（複数回答）としては、「警察官の訪問を受けたとき」が46.3%で最も多く、「悪い印象を持った場面」（複数回答）としては、「交通取締りを受けたとき」が28.2%で最も多い。

・警察活動に対する満足度は「普通だと思う」が過半数

「現在の警察活動全般に満足していますか」という点に対し、「普通だと思う」が52.7%と過半数を占めた。「非常に満足している」、「ほぼ満足している」の合計が24.8%、「非常に不満である」、「やや不満である」の合計が11.3%であり、満足している県民の方が不満な県民より多い。

活動項目ごとにみると、「非常に満足している」、「ほぼ満足している」の合計割合が高い活動は「地域におけるパトロール活動」が31.2%、「子供の安全・安心を守るための活動」が25.5%である。

反対に、「非常に不満である」、「やや不満である」の合計割合が高い活動は、「交通取締り」が23.7%、「信号機、道路標識などの整備」が17.5%など交通安全対策に関するものである。



< 安全で安心なまちづくり >

- ・ここ3年間くらいで、治安が「良くなった」と思う県民が比較的多い

「ここ3年間くらいで、治安が良くなったと思いますか、悪くなったと思いますか」という点に対しては、「どちらともいえない」が42.2%で最も多い。それ以外では「良くなったと思う」、「どちらかといえば良くなったと思う」の合計が23.4%、「悪くなったと思う」、「どちらかといえば、悪くなったと思う」の合計が18.9%であり、治安が良くなったと思う県民の方が、悪くなったと思う県民より多い。

- ・特に取り締まってほしい犯罪は、「特殊詐欺」、「子供に対する犯罪」が多い

「不安に感じている犯罪で、特に力を入れて取り締まってほしいと思う犯罪」（複数回答）については、「振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺」の58.8%と「子供に対する犯罪」の57.2%が5割を超えた。

「犯罪の予防活動として、警察に特に力を入れてほしいと思う活動」（複数回答）については、「制服警察官によるパトロール」の52.0%が最も割合が高い。

- ・「鍵掛け」を最もしているのは「自動車」、最もしていないのは「住宅の2階以上の窓」

「盗難被害に遭わないために『鍵掛け』をどの程度していますか」という点に対しては、「必ずしている」の割合が高いのが「自動車」の86.1%、「住宅の玄関、勝手口」の79.3%である。反対に「必ずしている」の割合が低いのが「住宅の2階以上の窓」の40.1%、「自転車」の61.2%である。

- ・地域住民による自主的な防犯活動には、「積極的」な県民が半数近い

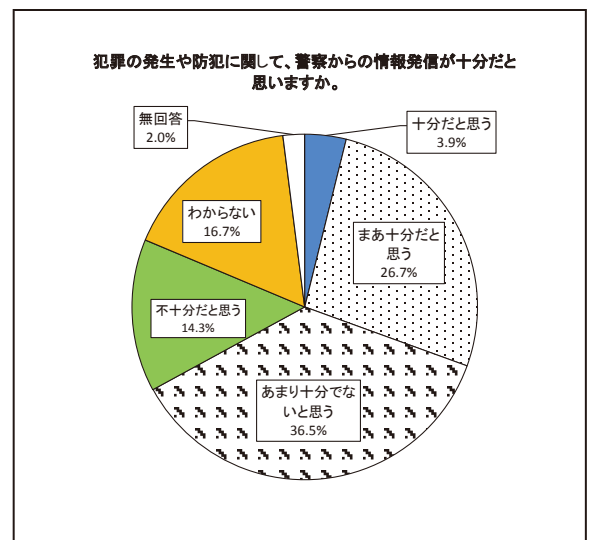
「地域住民による自主的な防犯活動に参加したいと思いますか」という点については、「すでに参加している」、「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」の合計が45.2%で半数近い。

< 広報広聴 >

- ・警察からの情報発信は「不十分」だと思ふ県民が多い

「犯罪の発生や防犯に関して、警察からの情報発信が十分だと思いますか」という点については、「あまり十分でないと思う」、「不十分だと思う」の合計が50.8%と半分を超える。

「情報発信してほしいと思う項目」（複数回答）は、「地域の犯罪発生状況」の57.8%、「子供に対する『声かけ』」などの不審者情報」の56.3%、「特殊詐欺などの犯罪手口」の50.6%が5割を超える。



- ・相談する機関として最も知られているのは「警察」

「困ったときに相談する機関として、知っているところ」（複数回答）としては、「警察（総合相談）」が59.5%で他を引き離して多い。次いで「県生活センター」の33.3%、「児童相談所」の30.6%が3割を超える。

< 犯罪被害者支援、交通安全対策、警察の施設 >

・自身も家族も事件、事故の被害に遭ったことのない県民が半分近い

「自身や家族が事件、事故の被害に遭ったことがありますか」という点については、「自身も家族も被害者になったことはない」が45.4%、続いて「家族が事故の被害者になったことがある」、「自身が事故の被害者になったことがある」がそれぞれ10%台である。

「被害者への支援活動として望むもの」（複数回答）は、「今後の見通しなど必要な情報について教えてほしい」、「事件や事故の被害による生活上の困りごとの相談にのってもらいたい」が約4割で多い。

・力を入れてほしい交通安全対策は、「悪質危険違反の取締り」

「警察に特に力を入れてほしいと思う交通安全対策」（複数回答）としては、「飲酒、無免許、速度超過などの悪質危険違反の取締り」が65.0%で群を抜いて多く、続いて「高齢者を交通事故から守るための対策」、「自転車利用者に対する指導取締り」が約38%である。

・交番・駐在所で改善してほしいのは、「不在時に本署と連絡の取れる設備」

「警察署を利用しやすくするための改善」（複数回答）としては、「ロビーを明るくする、広くするなどして利用しやすい施設としてほしい」の30.4%が最も多い。

「地域の交番・駐在所を今より利用しやすくするための改善」（複数回答）としては、「駐在所の不在時に本署と連絡の取れる設備をつけてほしい」の36.3%が最多、続いて「施設を案内する標識板等の整備をして、場所をわかりやすくしてほしい」の30.4%が多い。



秋田県警察マスコット あいちゃん

治安に関する県民意識調査についてのお問い合わせ先

秋田県警察本部 警務部 広報広聴課

〒010-0951 秋田市山王四丁目1番5号

電話 018(863)1111 【内線】2161

問合せ時間：土・日・祝日を除く 8：30～17：15